

今、注目の社会福祉法人理事長が語る

保育園から

日本の未来をつくろう！

待機児童解消のために
全国各地で新しい保育園が
開園されていますが、
中でも、精力的に

開園を続ける保育業界注目の
保育園グループがあります。
理事長対談で、保育士という
仕事の素晴らしさ、そして、
保育の先にある社会の未来について

熱く語り合っていました。
檸檬会と茶々保育園グループで
「レモン・ティー」対談です！



「保育」という仕事の社会的意義をもっともつと伝えたい



編集部 はじめにお二人が、保育事業を

始められた経緯を教えてください。

迫田 母が40年前にお茶の産地、埼玉
県狭山市に建てた園が母体です。茶畑の
真ん中にあつたから「茶々保育園」。当時
から、人と人がお茶でつながる茶所のコ
ミュニケーションを大切にしています。30
才まで経営コンサルティングの仕事をし
て、母の園に入りました。それから年に
約1園ずつ増やし、現在は15園です。3
年間ほど園長も務めました。今は理
事長として法人全体を見るようにして
います。

前田 僕はアメリカで経営学を学びま
した。帰国してすぐに飲食業で起業した
のですが失敗。その後、地元の和歌山に
戻り、訪問介護事業を始めました。そこ
で、介護士の人手不足に悩まされまし
た。30〜40代の女性たちは、子どもが小
さくて、たくさん働きたくても働けない。
僕らは子どもがいる彼女たちを雇用し
たい。ならば、と、社内で託児所を始め
たのが保育事業の原点。それを事業化し
たのが檸檬会です。

編集部 どちらも園を増やし、事業を拡

大し続けていらっしゃるのなぜですか？

前田 利益追求というより使命的なも
のです。社会福祉法人として10年、20年
そして100年続けていくにはどうした
らいいかと考えると、ある程度の規模
が必要になります。規模を大きくしなが
ら人を増やすと、優秀な人も入ってきて、
いろいろなしくみが作れます。

迫田 僕が園を増やすのは、社会全体
に「保育は素晴らしい」ということを浸
透させたいからです。園を巣立った人が
活躍するとか、働いている人もハッピー
になるとか、そういうことを積み重ねて、
保育とは社会的に価値のあることをし
ていると伝えていきたい。それにはスケー
ルアップも必要かと思えます。

保育者の待遇はかなり改善、 やりがいのある仕事です

編集部 保育士不足はどう思いますか？

迫田 しくみや制度で変えていくこと
が前提ですが、われわれ現場ができるこ
とは、保育士という仕事の素晴らしさを

伝えていくこと。この仕事が尊敬される、

すてきな仕事だということに気づいても
らうこと。それには、われわれが自分た
ちを見直しながら向上していくことも
大切です。

前田 保育士は仕事がつくって、給料も
低いという印象が強いですが、条件はか
なり改善されています。お給料は一般女
性社員の平均と同じ、もしくはは上で、家
賃補助などの福利厚生を含めるとすこ
くいい職場だし、やりがいもあります。そ
のことを、メディアを通じて伝えていく
ことが大事だと僕も思います。

迫田 そうですね。いろいろなメディア
を使って発信していこうと思っています。
編集部 今後、保育という仕事はどう
なっていくと思いますか？

前田 日本はますます超高齢社会にな
ります。10年後、子どもも減るけれど、
労働人口も減る。そこを考えていないと
法人は続かない。子どもの未来ですが、
日本の未来も見ないとけません。

迫田 世界が日本の成り行きに注目し
ていますよね。

園側が明確な理念を提示し 賛同した保育士と働きたい

編集部 保育園を作っていくときに、
どういう保育士さんに来てほしいです
か？

前田 今のスタッフは、園の理念や方
針をきちんと伝え、わかった人が入っ
て来ています。レイモンド保育園の
保育がしたいと言って入ってくれる人
が増えてきました。すると長続きする
し、保育も真剣にやってくれる。つま
り、理念を伝え、賛同してくれるのが
理想です。

迫田 そのとおりですね。家が近いか
ら、給料がいいからだけでは長続きし
ません。理念に共感し、私だったらこ
んな保育をしたいと思えることでは
うね。うちの理念が正しいというわけ
ではなく、合う・合わないがあると思
うのです。採用は人確保でなく共感集
め。働く人も保護者も、コンセプトや
理念に共感しているのがいいですね。

未来をつくる子どもたちにも何を託す？

それを考えるのが保育

編集部 理念はどう伝えているのですか？

迫田 就職セミナーでワークショップをしたり、理念を体現したイベントを実施したりして、現場に遊びに来てもらっています。一緒に体験して保育を見てもらうと、コンセプトを理解してもらえます。待機児童が多い今は園が増えています。待機児童が多い園が余る。斜陽産業になったときにも保護者や保育士に選んでもらえるよう、今からちゃんとやっておかねといけません。

前田 そうですね。今からちゃんとやっているところが残るでしょう。10年後、20年後のことを考えないといけません。

編集部 潜在保育士についてはどうですか？

迫田 最近あまり結婚や出産で退職はされないように思います。育児休業を取り復帰するのが普通で、常に10人くらい育休中です。復帰後は短時間勤務に。法整備も進み、それがメジャーになりましたね。

前田 ただ、それだけでは足りないの。10年くらい休んでいる人にも戻ってきてほしいのですが、それがなかなかできない。

制度は変わってきている。短時間勤務の正社員制度も

迫田 潜在保育士は約80万人、そのうちの1割が戻ってきてくれると、保育士不足は一気に解消するといわれています。フルタイムでなくとも、それぞれの働ける時間で、少しずつ戻ってきてくれるといいのですが。

前田 今は10年前と違って、短時間勤務の正社員制度もある。そんな制度を利用して戻ってきてほしいけれど、制度が変わっていることがなかなか伝わらないです。

迫田 そうですね。制度やしきみ、キャリアパスを作るのも大事だけど、ロールモデルとなる人がいて伝えることも大事ですね。

前田 これからは、看護業界のように海外の人に門戸を開くかも。固定観念をは

保育はとてもクリエイティブな仕事。深くてももしろい

ずし、IoTやAIなども活用し、保育士不足を解消したいです。

日本の幼児教育はレベルが高い。

世界へ広めよう！

編集部 今後、園を運営していくにあたり、抱いていらっしゃる夢を教えてください。

前田 日本という枠組みをはずし、世界を舞台にして幼児教育の事業をやっていききたいです。そこに、保育士不足を解決できる方法が見つかるかもしれない。実は今、フィリピンで英語学校も経営しているのですが、いずれ世界展開をするときに園長先生になれる人材も育成したいと思っています。

迫田 発想のレンジが広い！

前田 日本の幼児教育はアジアの中でもレベルが高い。それを広げることは日本の未来はもちろん、ほかの国にも利益になります。

迫田 うちの園では毎年、北欧などに海外研修に行きます。行った人は、学

ぶところはたくさんあるけれど、同時に日本の保育の素晴らしさに気づいて帰ってきます。何より日本の食育、離乳食のいいねいさは素晴らしい。われわれにとつての「普通」には価値がある。アジアへの展開は可能性が高いでしょうね。

編集部 日本の保育士さんが世界に出て行き、世界に広める時代が来る？

迫田 海外の人と話したり、日本に来てもらう体験は、ポーターレスな社会で生きる手助けになるでしょう。異文化の人を認めるだけでなく、同じ日本人同士でも、一人ひとり違いを認め合える。それが究極の多様性であり、子どもたちが違いを認め合える社会を作っていくのが、僕の夢ですね。そのためには国を超えた体験をプロデュースしていかないとけないと思います。前田 保育はとてもクリエイティブな仕事。社会的意義もあるし本人の喜びもある。深くてももしろい仕事です。ぜひ、クリエイターとして園に入ってきてほしいですね。

保育者はクリエイター。子どもを通し未来をデザインする

Kotaro Maeda

社会福祉法人檸檬会
(レイモンド保育園グループ)

前田効多郎理事長

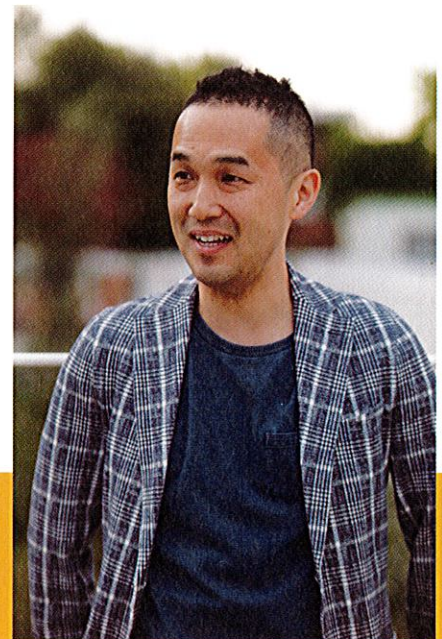


和歌山県出身。アメリカの大学で経営学を学び、帰国後、さまざまな経験を積んだ後に保育事業に参入。2007年に社会福祉法人檸檬会を設立。現在、保育園やこども園など49園を経営する。また、英語中心に教育するインターナショナルスクールを滋賀県や大阪府など3カ所に展開するほか、海外事業にも乗り出している。

Kentaro Sakoda

社会福祉法人あすみ福祉会
(茶々保育園グループ)

迫田健太郎理事長



立教大学経済学部経済学科を卒業後、アンダーセンコンサルティング(現:アクセンチュア)へ入社。その後、保育業界に転身し、現在は茶々保育園グループの理事長。首都圏を中心に15園の保育施設の経営を行う。インターネット番組「保育士ステキ度向上委員会」を配信するなど新たな取り組みにも挑戦している。